

No 35

1976.  
6. 5

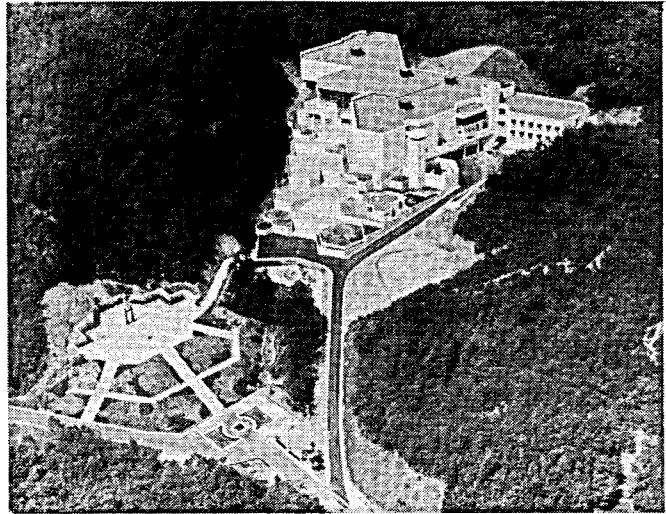
# 岐阜の博物館

〒483 羽島郡川島町  
エーザイ工園  
内藤記念くすり資料館内  
岐阜県博物館協会  
TEL (058689) 3111  
内線 540  
振替 名古屋 70106

館  
・  
園  
紹  
介  
  
No  
30

岐  
阜  
県  
立

## 岐阜県博物館



〒501-32 関市小屋名（岐阜県百年公園内）

TEL <05752> 8 - 3111 (代)

### 期待の文化の殿堂、ついに誕生！

岐阜県では、置県百年を記念して、郷土の発展の転機となり、長く後世に残る事業として、百年公園と博物館建設が計画された。博物館は、過去4年にわたる開設準備期間をおいて、本年5月5日の子どもの日に開館したもので、総床面積約8,800㎡、全国的にも屈指の規模を誇る県立の総合博物館である。

展示室は5室、総面積2,676.8㎡で、1階に自然展示室の1と2、2階に人文展示室の1と2、それに特別展示室がある。自然展示室1は、「郷土の自然とおいたち」を大テーマに、まずふるさと岐阜県の大地に焦点をあて、40億年を超える自然の歴史のドラマから始まっている。何気なく、あるべくしてあると思いがちな身のまわりの自然も、幾多の劇的なドラマが展開された歴史の結果である。郷土の大地や生物の変化を、科学的にたどり正しく理解することは、

かけがえのない有限の宇宙船地球号に生きる、私たち現代人の責務でもあろう。オオツノジカなどの生きていた氷河期から、展示内容は現在の飛騨の山々や美濃の河川の自然の姿へと流れ、自然とヒトとのかかわりで結ばれている。自然展示室2では、県内の特色ある動・植物・鉱物などが、課題毎に15コーナーに分けて展示され、「郷土のさまざまな自然」の紹介がされている。

いっぽう2階の人文展示室1は「郷土のあゆみ」を大テーマに、人類が洞穴生活をしていた原始時代、つまり郷土のあけぼのからドラマが始まり、濃飛両国の成長・地方信仰・武家の社会・濃飛の江戸時代・郷土の100年へと、岐阜県を舞台とした人間社会の過去の移り変わりが、楽しく描き出されている。歴史を正しく知ることこそが、明日を、未来を創造するための基礎であることを思うとき、ここもまた、ひとり

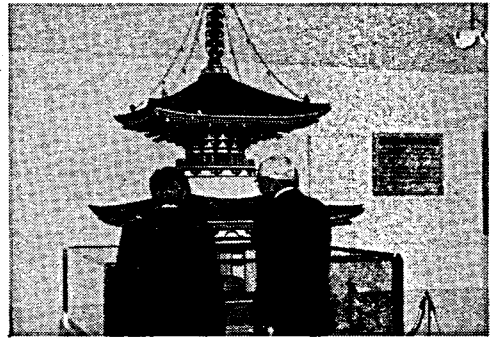
も多くの方々に見ていただき、人間社会の未来像を、あれやこれやと考えてみてもらいたいものである。人文展示室2は、「郷土の美術工芸」が主題で、仏教にかかわる美術工芸品・信仰と芸能にかかわるもの・刀剣、やきもの、飛騨春慶、飛騨彫刻など今に生きる伝統工芸が紹介されている。

この他、実物や模型を手にしながら、親子で学習できる郷土学習室には、子ども向けの図書も揃えられ、またスイッチを押せば自動的に鑑賞できるスライドの設備もあって、ここでの資料の充実・拡充が待たれる。講堂・研修室、それに図書資料室をはじめ、収蔵庫はもとより石工室・工作室・研究作業室等も完備され、館外には「自然観察のこみち」も設けられているから、まさに県下の中央博物館であり、教育県日本一をめざす岐阜県ならではの誇り高き文化の殿堂登場……である。後世に残る英断……この偉業に心から拍手をお送りし、これまでの関係当局および関係者の多くの方々に、感謝とお喜びを申し上げることはも術も思いつかない。

ところで、博物館は、開館をもって完成したのではなく今やっと「博物館」としてスタートしたばかり、今後こそ多大の課題を残しているといえよう。「展示室」だけが博物館でないことは当然であるが、このことが案外忘れられている。博物館のもつ諸機能は、資料の収集・保存を3、調査研究を3、展示室以外での教育



自然展示室1  
「デスモステルス」(複製)  
の展示コーナー



人文展示室1  
「日龍峰寺 多宝塔(模型)」  
の展示コーナー

活動を2の割合で考えると、「展示室」そのものを持つ比重は2割にすぎないはずである。この8割を占める部分の内容・具体策いかに博物館の良否を決定づけるのである。

岐阜県博物館に寄せる期待が大きいだけに、これからの充実した歩みこそが注目されよう。たとえば、ほんの一例をあげるとするなら、岐阜県は、全国的にみても、生物相、あるいは植物の分布地理学、地史学においても、豊かな自然史の舞台ではあっても、その調査研究は後進県の暗黒の地である。埋蔵文化財の発掘調査、あるいは考古学の調査研究にしても遅れている。こうした面での調査研究の中核機関として、どのような具体策と予算の裏付けをもって、学術面での発展に寄与しようとしているのか、そうした水準高い学術調査と表裏一体となつての資料の収集と保存の具体策は？そして、科学的な研究結果を背景に持ったりえでの教育普及活動の具体策は？ことに社会教育機関として、住民の自主的学習活動にどう対応し、施設設備を解放していくのか？「展示室」だけで事足りるといった博物館学盲人の運営がなされたなら、死せる「見せ物小屋」に終わるにちがいない。いずれにしても今後が楽しみである。

休館；月曜、祝祭日の翌日。12月27日～1月4日  
9月30日まで無料。以降小中生50円、高大学生  
100円、成人150円、団体20名以上割引あり。

# 昭和51・52年度 新 役 員 決 定

去る5月9日の岐博協総会にて、新役員が下記のように再選・追加決定されました。任期は昭和51・52年度の2か年ですが、協会活動の一層の充実、発展が期待されるところです。

会 長 上松陽助 (岐阜市長)  
 副会長 平田吉郎 (高山市長)  
           郷 浩 (岐阜城)  
 理事長 長倉三朗 (飛騨民俗村)  
 副理事長 吉田幸平 (濃飛甲冑研究所)  
 理 事 青木允夫 (くすり資料館) <五十音順>  
           浅見昭子 (浅見化石館)  
           石田豪澄 (貴異美術館)  
           上村 修  
           大江 命 (中部山岳考古館)  
           大橋宣嘉 (飛騨大鐘乳洞)  
           小栗克介 (日吉ハイランド)  
           尾内広行 (高原郷土館)  
           小幡忠良 (岐阜県博物館)  
           金子貞二 (明方村立博物館)  
           樹神 弘 (岩村町郷土館)  
           柴田佳章  
           清水金哉 (大垣城郷土博物館)  
           白木孝一 (菊花石館)  
           谷田 勉 (高山屋台会館)  
           田中利夫 (岐阜市児童科学館)  
           土田吉左衛門 (飛騨集古館)  
           中川 連  
           中田 勉 (白川郷合掌村)  
           中村 実 (瑞浪市化石博物館)  
           名和秀雄 (名和昆虫博物館)  
           古川庄作 (岐阜県陶磁器陳列館)  
           松本五三 (郡上八幡民芸美術館)  
           松本秀夫  
           武藤隆一 (奥美濃郷土館)  
           若宮成光 (若宮修古館)  
 監 事 石川良直  
           藤田松太郎  
           松田 充

顧 問 兼村虎之助  
           広瀬 鎮  
 事務局長 青木允夫

広報委員会	担当理事	柴田 佳章
	委 員	小野木三郎
	"	田中 淑紀
	"	古田 恵子
学術委員会	担当理事	吉田 幸平
	委 員	大久保基一
	"	加藤 務
	"	亀山 久雄
	"	中川 連
東海博実行委員会	担当理事	郷 浩
学芸技術委員会	担当理事	青木 允夫
事 務 局	担当理事	青木 允夫
	"	上村 修
	"	松本 秀夫
	局 員	古田 恵子

## ＝ 事務局より ＝

■ 岐阜県博物館が開館し、一ヶ月になります  
 が、すでに参観された方も多いことでしょう。  
 地域にあって、コソコソと地道な活動を続けて  
 いる協会下の各館園にとっては、学術面・資料  
 収集・資料保存、あるいは展示技術等につい  
 ても 総合中央博物館としての県博に期待する  
 ところ大です。そうした立場から、「ぜひ岐阜県  
 博物館にこころ望む」の声を特集したいと思  
 います。ご意見、感想、提言などお寄せ下さ  
 さい。

■ 博物館人の広場は今後も連載していきます。  
 日頃お考えのこと自由に原稿お寄せ下さい。

<送り先>

〒502-32 関市大平町2-32 柴田佳章  
 TEL.<05752>2-4666

または協会事務局まで。

# 岐阜県博物館協会 規約

## 第1条 名称

本会は、「岐阜県博物館協会」と称する。

## 第2条 目的

本会は、会員相互の連絡提携のもとに施設活動の拡充発展をはかり、もって社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与することを目的とする。

## 第3条 本会は次の会員をもって構成される。

1. 正会員 岐阜県内の博物館および類似施設、個人会員をもって正会員とする。
2. 賛助会員 本会の主旨に賛同され、賛助費を納入された方をもって賛助会員とする。

## 第4条 事業

本会は、第2条の目的達成のため、次の事業を行なう。

1. 総会、役員会の開催
2. 会員相互の情報交換
3. 職員の研修
4. 巡回展示物のあっせん
5. 機関誌「岐阜の博物館」の発行
6. その他必要な事業

## 第5条 役員

本会に次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 2名
3. 監事 3名
4. 理事長 1名
5. 副理事長 1名
6. 理事若干名

## 第6条 役員を選任

1. 会長、副会長は役員会の推薦により総会の承認を経て推挙する。
2. 理事、監事は総会において正会員の中から選出する。
3. 理事長、副理事長は理事の互選による。

## 第7条 役員の仕事

1. 会長は本会の業務を掌握し、会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に支障ある時は、その職務を代行する。
3. 理事長は理事の長として、会長、副会長を補佐する。
4. 理事は役員会を組織し、会務を審議議決する。
5. 監事は会務を監査する。

## 第8条 役員の仕事

役員の仕事は2年とする。

## 第9条 委員会

1. 会長は本会の会務を処理するために、委員会を設け、委員を委嘱する。
2. 委員の仕事は2年とする。

## 第10条 事務局

1. 会長は事務局を設け、総会の承認を経て、事務局長1名、事務局員若干名を委嘱し、会の運営に当らせる。
2. 会長は本会の会計を事務局長に委任する。
3. 事務局長、事務局員の仕事は2年とする。

## 第11条 顧問

1. 会長は、顧問若干名を委嘱する。
2. 顧問は総会、役員会において、会運営のための助言、指導を行なう。
3. 顧問の仕事は2年とする。

## 第12条 役員会

1. 役員会は会長、副会長、監事、理事および事務局長をもって組織する。
2. 役員会は会長がこれを召集し開催する。
3. 役員会は次の事項を審議する。
  - (1) 規約の改正
  - (2) 予算および事業計画
  - (3) 決算および事業経過報告
  - (4) 会長、副会長の推薦および理事長の互選
  - (5) その他、会運営上の重要事項
4. 役員会は、役員総数の $\frac{1}{2}$ 以上の出席を必要とし、議決は出席者の $\frac{1}{2}$ 以上の賛成を必要とする。

## 第13条 総会

1. 総会は正会員をもって組織し、会長がこれを召集し開催する。
2. 通常総会は毎年1回開く。
3. 通常総会は次の事項を審議する。
  - (1) 会務報告
  - (2) 予算および事業計画
  - (3) 決算および事業経過報告
  - (4) 人事
  - (5) 規約の改正
  - (6) その他、会運営上の重要事項
4. 総会は正会員数の $\frac{1}{2}$ 以上の出席を必要とし、議決は出席者の $\frac{1}{2}$ 以上の賛成を必要とする。

## 第14条 運営費

本会の運営費は次の収入で充当する。

1. 会費、賛助会費、補助金、寄附金、入会金その他。
2. 会費は次の通りとする。
  - (1) 公立館員 3,000円
  - (2) 私立館員 2,500円
  - (3) 個人会員 1,500円
  - (4) 賛助会費 10,000円以上
3. 入会金は2,000円とする。

## 第15条 会計監査

監事は年1回会計監査を行ない、これを役員会、総会に報告する。

付則 この規約は昭和51年4月1日から施行する。

## お砂糖をまぶした 私の「解剖史」

内藤記念くすり資料館学芸員  
古田 恵子

来たりくる夏の気配をしたたかに秘めて、私の方へ押し寄せてくる幾重ものリフレインは、さざめく夜会の只中で熱い視線に耐えている貴婦人のロオプの裾のようであった。海……。この限りない背の連繋に對峙して、私は一時弛緩の甘さに身をゆだねていた。

ふと膝元の印刷物に眼を落とすと、下田のハリスの下に、今日は唐人お吉の参った日だとある。眼前の海は、また下田へと繋ぎ、やがて悠久の彼方で一つになっているような気がして、ふと海は苦々しくゆがんだ。あちらでもこちらでも、木々が、石が、血を流し、うめき、またささやきあって幾千年の歴史をかいくぐってきたのだろう。様々の人が様々の思いで時の流れを生きてきた。唐人お吉もその内の一人である。

私は、このころ一冊の本を読み終えていた。それは一人の遊女が駆け抜けていった人生であり、またわが国初の志願解剖の成り行きであった。年若い遊女と「解剖」——両者を結ぶ奇妙な絆、それが私をのめり込ませていった。

殺人・変死などの死亡時刻、年齢推定等をとする為の「法医解剖」、病因を調べる「病理解剖」と共に、医学生たちが体の構造を理解する為の「正常解剖」というものがある。前二者に比べ、この正常解剖に呈される屍体は極めて少ない。現状では10万體は必要といわれるのに、篤志家（死後、自らの死体を提供してくれる人）を募っても1万人にしかならない。その1万人の篤志家の才1号が、吉原の遊女、美巖であった。小動物は幼な児の残虐に献げられるが、美巖の全身は真実に飢えた江戸期の医学生たちに献げ

られたのだった。

わが国最古の人体剖見の記録は「日本書紀」に既に見られる。雄略天皇三年の夏、不貞を疑われて自殺した皇后の腹を裂いたというのだ。中国でも「漢書」に刑罰を兼ねた解剖の記事がみられる。古代、こうした屍体を傷つけることにはおおらかであったが、養老律令によって初めて禁止された。その後、仏教・儒教の影響もあって、たとえ死体といえども自然の姿に傷をつけるなどもってのほかとする考えが長く続く。初めてこのタブーを打ち破ったのが、江戸時代の山脇東洋である。京都六角獄舎での斬首刑の死体の解剖は、当然ながら非難的であった。この時の剖見記事が「葺志」二巻となって発刊されている。

20年後、小塚原で解剖を見た杉田玄白らが、「解体新書」を翻訳するに到るまで、まだまだ世間一般の「解剖」への偏見は根強かったのである。一体の解剖に執刀者6人、助刀（刀を拭いたり手渡したりする）5人、画工2人、僕役（水を汲んだり、臓物を竹竿に吊したりする）20人、見学者が120人というものものしさが、しばらくは続いたらしい。こうした情勢下での、遊女美巖の体の提供が、いかに貴重であったかはいうまでもない。彼女は恋の為に志願解剖を名乗り出た。医学発展の為などという大それた考えはない。しかし、その動機が何であれ、貴重な才一号の志願解剖であった。

くすり資料館に一幅の解剖図がある。寛政年間、窃盗の罪で打ち首にされた男のものだ。この解剖に携わった医学者たちの高揚も、この窃盗をはたらかねばならなかった男の、恐らくは苦渋に満ちた貧困の人生も、今はこの一幅の絵の中に眠っている。

様々の人が様々の思いで時の流れを生きていく。首と体の離れた男の解剖図を横目にしながら、何かしら胸の痛みを感じないではいられない私である。

（岐阜県博物館協会 広報委員兼事務局員）

### 大橋氏ら三氏に表彰状贈らる

去る5月9日の本協会総会において、次の三氏に、その業績を称え表彰状が贈られました。

今後の一層のご活躍とご発展をお祈りします  
大橋 宣嘉氏 飛騨大鐘乳洞・国際博物館々長  
であり、本協会理事としてご活躍になるとともに、セミナー集・博物館地図の出版や学芸技術員講習会などに多大の支援をいただきました。

小野木 三郎氏 本協会理事ならびに編集長として、永年にわたり機関紙「岐阜の博物館」、博物館地図、博物館要覧、博物館セミナー集などの編集と出版に貢献されました。

柴田 佳章氏 トンボの分布・生態を研究し、博物館展示にも高い関心を持っておられ、特に笠松町木曾川河畔の河跡湖「トンボ天国」の保護に努力されました。

### 必見の新展示二つ

#### 1. 「わが自然の仲間たち」

名和昆虫博物館（岐阜公園内）は、中日新聞社と共催で、コン虫を中心にカモシカ・植物など500余点を展覧中。自然が激しく蝕ばれている昨今、自然のすばらしさや人間とのかわりを理解するのに役立つ展示です。岐阜県・愛知県各教育委員会後援、8月31日まで。

#### 2. 「家族計画教室」

くすり資料館（羽島郡川島町）内に、家族計画国際協力財団、日本家族計画協会の協力により完成したもの。避妊・産児調節の歴史、避妊法、家族計画、日本や世界の人口問題など26のテーマにわたって、絵・写真・関連資料を効果的に展示してあります。爆発的人口増加による食糧危機が始まっている今日、住みよい世界を造るために、老いも若きもぜひ参観あれ

### 新入館園紹介

◎美濃国分寺考古館 〒503 大垣市赤坂町青野  
TEL<0584>71-0297

◎岐阜県博物館 〒501-32 関市小屋名  
TEL<05752>8-3111

### 学芸員四人誕生

昭和50年度学芸員資格認定で、県下から四名が合格し、有資格者となりました。

土田吉左エ門 高山市天満町2 (試験認定)

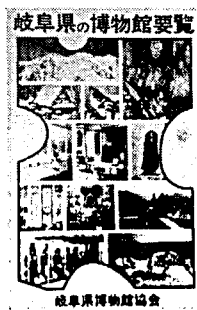
堀 部 満 本巣郡糸貫町仏生寺 (試験認定)  
655

笠原 芳雄 岐阜市北山1-4-3 (試験認定)

長倉 三朗 高山市神岡町1037 (無試験認定)

### 「岐阜県の博物館要覧」

ついに発刊



かねてから企画されていた「岐阜県の博物館要覧」が刊行されました。

A5判93頁の立派なもので、県内の館園多数が写真・地図入りで解説されていて、生涯教育の絶好の案内書となりましょう。すでに、事務局へは注文が殺到しています。購入はお早目に

一部実費700円 送料無料。

編集後記 ◎本機関紙創刊以来、その編集に携わってこられた小野木三郎氏は、四月の異動で県博物館にご栄転になりました。

今回より広報委員会の新メンバーで編集に当たります。ご指導ご鞭撻下さい。

◎この度、古田恵子さんが本協会事務局員になりました。彼女は昨年9月より、くすり資料館に勤務していますが、南山大学で仏文学を専攻された才媛で、学芸員・司書の資格があり、しかも「独身」です。今後ともどうかよろしく。  
(柴田)